



梅雨の最中、はっきりとしない天気が続いています。梅雨明けが待ち遠しい今日この頃です。学校生活では校内定期テストⅠが行われるとともに中体連夏季大会や各種コンクールも始まり、3年生にとっては入部から2年以上かけて積み重ねてきた成果を発揮する時が来ました。これまでの取組を振り返ると、仲間と苦楽を共有し、ともに高め合ってきた日々を思い出します。まさに中学生ならではの「青春」を味わってきました。中体連・中文連の大会やコンクールはこれからが正念場です。保護者や地域の皆様の熱い応援をどうぞよろしくお願いします。なお、各種大会・コンクール結果につきましては、次号にて紹介いたします。

☆決意表明式

中体連夏季大会を控えた6月5日、夏季大会決意表明式を行いました。1・2年生からの盛大な拍手に迎えられてユニフォーム姿で入場した3年生たち。きりっとした精かな顔つきには中体連夏季大会に向けた意欲がみなぎっていました。

部ごとに力強く決意を表明する中で、これまで活動を支えてくれた仲間や指導者の方々への感謝の言葉を述べたり、明確な目標を公言し、有言実行を実現する意思を示したりしました。

その後、部長一同が教頭に向けて選手宣誓を行いました。力強い宣誓に鳥肌が立つほどでした。そして、後輩たちからの激励のメッセージが各部に贈られました。心温まるメッセージに、大会での躍動への誓いを新たにしました。

最後に、校長不在のため教頭より激励の言葉を選手に送りました。

その中で「かつてのオリンピックマラソン選手、有森裕子選手は、銅メダル獲得直後のインタビューで、涙ながらに『自分で自分をほめたい』と語った。」ことを伝えました。生徒も大会やコンクール終了後に「自分で自分をほめたい」、こんな思いを持てるような取組をしてほしいと思います。



部ごとにめざす目標に違いはありますが、大会に向けた熱い思いはどの部も同じ。これまでの活動の成果を十分に発揮することを期待しています。

☆校内定期テストⅠ

今年度初めての校内定期テストが実施されました。生徒たちは緊張した面持ちでテストに臨みました。特に1年生にとっては中学校に入学して初めての定期テストです。テストに向けてどのように学習したらよいのか、どのように計画を立てたらよいのか、分からないことがたくさんあったのではないのでしょうか。2・3年生にとっては、これまでの定期テストを振り返り、その反省を生かす取組ができたでしょうか。どの学年の生徒も定期テストの結果から自分の現在の定着の程度を認識し、これからの学習に向けてどのように取り組むべきか、しっかりと先を見据えることが大切になってきます。これから先、自分をより成長させるために、何を、どのように変えていく必要があるのか、しっかりと見つめることが大切です。自分の伸ばすべきところはどんなところなのか、改善すべきところはどんなところなのか、そのために何をすべきなのか。さらなる高みを目指して今の自分と向き合ってほしいと思います。